つながるいのち

臓器移植をテーマにいのちについて考える

教師用手引書

道徳・総合的な学習（探究）の時間で使える！

「いのち」について深く考え合う映像教材

京都産業大学教授　柴原 弘志

虐待、いじめ、不登校、低い自尊感情、脆弱な人間関係、思いやりの欠如、
夢を見いだせない閉塞感そして自殺・・・・・

今日、我が国の中学生を語るとき、必ずと言ってよいほど含まれる言葉の数々です。私たちは、中学生そして彼らを取り巻く大人や社会全体における「いのち」についての認識、言い換えれば「生きるということ」についての認識を改めて問うことが求められているのではないでしょうか。

小・中学校及び高等学校の学習指導要領総則において、道徳教育を進めるうえでは、「人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念を家庭、学校、その他社会における具体的な生活の中に生かし」ていくことが求められています。考えてみますと、道徳教育ではぐくもうとする道徳性はすべて、「いのち」が価値あるものとして尊重されること、「生きること」が「是」として認識されることを前提として成り立つものだと考えられます。

この教材は、ほとんどの中学校道徳科教科書に掲載されている「臓器移植」を題材として取り上げ製作されたものです。中学生を主人公とした映像場面の随所に、「いのち」について様々な立場から多面的・多角的に考え、意見交換できるような問いが創れるよう工夫されています。今日、「生命尊重」を道徳教育上の重点項目に掲げておられる学校も多く、教育活動全体の重要な柱に位置付けておられる地域も少なくありません。そうした状況から、本教材には、道徳科授業での具体的な活用事例はもとより、総合的な学習の時間や学年集会・全校集会あるいは保護者や地域の人々の学習会等でも活用できるように生徒と保護者に向けた冊子も整えられています。

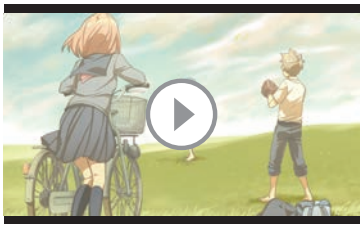
本教材セットが、多くの学校・地域で効果的に活用され、中学生はもとより教師・保護者あるいは地域の人々においても、「生命に対する畏敬」をも含む「生命尊重」の心や「いのち」についての認識が深まり、かけがえのない人生をより豊かに歩んでいかれますことを心より願うものです。

つながるいのち

本教材の構成

本教材セットは映像、生徒用冊子、教師用手引書で構成しています。

映像　約5分



同じ中学校に通う幼馴染のリョウとハルカ。ハルカの弟ユウヤが心臓の移植手術を受けたことから、二人がドナーの存在や臓器提供の意思表示について考えていくストーリーです。授業の導入などに視聴することで、生徒の関心をテーマに向けることができます。

生徒用冊子　A5版　16頁

映像のストーリーを読み物として掲載するほか、臓器移植についての基礎的な内容を解説しています。登場人物それぞれの気持ちを自分ごととして考えるための問いかけのページも設けてあります。

教師用手引書　A4版　12頁

映像と冊子を使用した授業展開例とワークシートを掲載しています。ワークシートはそのままコピーしてお使いいただけます。

「つながるいのち」を活用した展開例（道徳）

1 主 題 名「家族と話そう！！～臓器移植～」

2 内容項目
D－⑲ 生命の尊さ（その他にもA－①自主、自律、自由と責任）（B－⑥思いやり、感謝 ⑨相互理解、寛容）
（C－⑩遵法精神、公徳心 ⑭家族愛）

3 ね ら い
臓器移植について知識を得て、自分のこととして考えを深める。
そして、家族との会話の機会を設けるきっかけにする。

4 配 布 物
1）家族と話そう！！シート P10 2）ワークシート P5 3）「つながるいのち」生徒用冊子

5 本時の展開

段階時間	学習活動	留意点
導入10分	① 臓器移植について 医療・薬学が進歩した現在、本時の内容から生命の尊さについて考える。 もし、自分や家族に移植が必要になったらどうしますか？ 映像「つながるいのち」視聴	臓器移植法についても説明する。 「死」とは100％起こるものである。しかし、中には「死」について苦手な生徒もいるので、つらいときは保健室に行ってもいいことを伝える。思考回路が止まってしまう生徒もいる。まじめに取り扱うが、リラックスさせ授業に取り組む雰囲気作りが必要。
5分	② 4つの権利がある 臓器移植には「4つの権利」がある 今日の授業の後半で考えてみよう	●生徒用冊子P10-11参照 そして、じっくり考え、焦って決めなくても良いことを伝える。臓器移植について知らずに「4つの権利」から決めるのではなく、授業の後半でじっくり時間を設けることを伝える。
5分	③ 臓器移植のストーリー ドナー・レシピエント・脳死の説明 臓器移植のストーリーにはドナーとレシピエントに加え、家族や社会の人々（主に医療従事者）が関わってくる。	●生徒用冊子P12-13参照 臓器移植のストーリーを描かせる。自分だけでなく、家族や社会も関わってくることを想像してもらう。

学校で採用している教科書に「臓器移植」があれば教科書を使用してもよい（検定教科書7社中6社に記載あり）

20分	④「家族と話そう！！シート」に記入 これから自分の気持ちを記すことで、いのちの連続性・有限性について考える。 家族に自分の気持ちを伝えるときのために記してみよう	●生徒用冊子P14参照 無理に答えを出さなくてもいい。 雰囲気作りも必要。
終末10分	⑤ 今日の授業で感じたこと 臓器移植を考えたことでかけがえのないいのちとはどんなものだろう 宿題の説明 今日のワークシートと「家族と話そう！！シート」を使い、家族と話し合ってみることの説明。	実際のその場面になって、意思が不明のとき、残された家族が困ってしまうのではないかと想像してみる。その必要性から、生前の意思表示の重要性を、宿題を通して自分のいのち、家族のいのちについて考えてみる。

補 足
ここで終了しても充分だが、次の時間に「意見交換会」を設けることで他者の意見を聴く機会となり、より一層、生命の尊さについて考えが深まり、「考え、議論する道徳」へつながっていくことが期待される。 P6-7

評 価
臓器移植について考えると、他の題材より生徒の心の変容がはっきりと伝わってくる。ワークシートの⑤今日の授業で感じたことから、「臓器移植の授業の際に、いのちについて大きな変容を感じとり、生命の尊さを深める などの記述があった。」というように評価の際に活用しやすい。

ワークシート

家族と話そう！！～臓器移植～

① 臓器移植について

臓器の機能が低下した人に、他者の健康な臓器を移植し、機能を回復させる医療です。
現在、日本では本人の臓器提供の意思が不明な場合も、家族の承諾があれば臓器提供できます。

それに伴い15歳未満からの脳死後の臓器提供も可能です。

日本は＿＿＿＿＿＿年に「臓器移植法」が施行され、＿＿＿＿＿＿年に改正法が施行されました。

② 「４つの権利」がある

③ 臓器移植のストーリー

ドナーとは？ ➡ レシピエントとは？

脳死とは？ （植物状態との違いとは？）

④ 「家族と話そう！！シート」に記入

⑤ 今日の授業で感じたこと

振り返り

1. 自分のこととして考えることができた
そう思う　どちらでもない　そう思わない

2. いのちの大切さについて考えを深めることができた
そう思う　どちらでもない　そう思わない

3. 家族と話すことができた
そう思う　どちらでもない　そう思わない

＿＿＿＿年　＿＿月　＿＿日

年	組	番	氏名

意見交換会の展開例

道徳で臓器移植をテーマに授業した後、次の時間に機会があれば意見交換会を設けてみる。
自分の気持ちと家族の気持ちを記した「家族と話そう!!シート」を忘れずに持ってくるように指導。

段階時間	指導・実践	留意点
導入 3分	**前回の感想・振り返り。**	一週間経ったが、いのちの尊さ・重さ・大切さを感じたか？ 何か変わった？ 家族と話してどうだったか等問いかける。
展開❶ 15分	**「臓器移植解説映像」視聴。** 臓器移植ネットワークHPより （臓器移植・提供を知りたい方へ → 手記・映像ライブラリー → 映像ライブラリー内）	復習としての位置づけ
展開❷❸の説明 4分	**ア）指示の後に5～6人班に編成。** **イ）展開❷で全員に「家族と話そう!!シート」に記入した自分や家族に臓器移植が必要になった場合の気持ちを発表させる。** **ウ）班で一名、展開❸での代表発表者を決定。発表順番は発表代表者から時計回り。** **エ）一人2分以内とする。** **オ）展開❸での各班の持ち時間は1分以内とする。**	答えが出なかった生徒もいるかもしれないので、その生徒のことも尊重する雰囲気を確保する。 代表発表者には P7 「4つの権利 代表者用」のプリントを渡す。（代表発表者はみんなの意見を聴きながら記録をまとめる。） 机を5～6人班にする。
展開❷ 14分	**一人2分以内で** **A）家族が脳死になったら　B）自分が脳死になったら** **C）家族に臓器移植が必要なとき** **D）自分に臓器移植が必要なとき　の** **Ⅰ. 自分の気持ち　Ⅱ. 家族の気持ち　Ⅲ. 結論** **を発表** 各自　AⅠ→AⅡ→AⅢ・・・・・DⅠ→DⅡ→DⅢ の順で発表	それぞれの発表が終わったら必ず拍手をする。 決まった答えがないということや答えが出なかった生徒も尊重する雰囲気を確保する。 この時に黒板に各班の代表発表者と順番を板書する。
展開❸ 10分	**他者の意見・考えを聴く。** **一班1分以内で「4つの権利 代表者用」を発表。**	発表が終わったら必ず拍手をする。 決まった答えがないということや、意見を尊重する雰囲気を確保する。
1分	**机を元の列に戻す。**	
まとめ 3分	**これからの人生で、いのち尊さ・重さ・大切さを感じ、その時その時に死生観を考えていこうと問いかける。**	このような考えは、残りの人生で何度も変わってもいいのだということを強調する。

4つの権利　代表者用

	結 論
家族が脳死になったら	私の班は提供するが＿＿名　提供しないが＿＿名でした。 目立った意見は＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿で、 こんな＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ 意見もありました。
自分が脳死になったら	私の班は提供するが＿＿名　提供しないが＿＿名でした。 目立った意見は＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿で、 こんな＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ 意見もありました。
家族に移植が必要になったら	私の班は移植を受けるが＿＿名　移植を受けないが＿＿名でした。 目立った意見は＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿で、 こんな＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ 意見もありました。
自分に移植が必要になったら	私の班は移植を受けるが＿＿名　移植を受けないが＿＿名でした。 目立った意見は＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿で、 こんな＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ 意見もありました。
その他何か感じたこと	

私の＿＿＿＿＿＿＿＿班の発表は以上です。

＿＿＿＿年＿＿＿月＿＿＿日

年	組	番	代表 氏名

「つながるいのち」を活用した展開例（総合的な学習（探究）の時間）

1 主題名 「日本と世界の移植事情～自分の考えとは？～」

2 目　標 臓器移植について探究的な見方・考え方で横断的・総合的な学習を行う。
その中で課題を見つけ、自己の生き方を考える。

3 ねらい 臓器移植についての知識を得て、日本と世界を比べる。
生命倫理の角度から自らの考えを深め、そして、家族との会話の機会を設けるきっかけにする。

4 配布物 1）家族と話そう！！シート P10　2）ワークシート P9　3）パンフレット「いのちの贈りもの」 P11参照
4）「つながるいのち」生徒用冊子

5 本時の展開

段階時間	学習活動	留意点
導入15分	① 移植事情について 日本と世界の移植はどのような差があるだろうか？ ② 臓器移植とは ドナー・レシピエント・脳死の説明 「4つの権利」とは 映像「つながるいのち」視聴	世界のこと、日本のこと、移植についてのグローバルな視点を持たせる。 ●参考資料／臓器移植解説集→PPT37枚目参照 臓器移植のストーリーを描かせる。自分だけでなく、家族や社会も関わってくることを想像してもらう。
10分	③ それぞれの立場から考えてみる ドナーやレシピエント、その家族たちはどんな想いなのか考えてみよう。	●生徒用冊子P8-13参照 様々な人の立場に立ってその人の想いを想像してもらう。
15分	④「家族と話そう！！シート」に記入 これから自分の気持ちを記すことで、いのちの大切さについて考えてみよう。	●生徒用冊子P14参照 無理に答えを出さなくてもいい。 雰囲気作りも必要。
まとめ10分	⑤ 今日の授業で感じたこと 医学・薬学が進歩する中で、今後考えられる問題点や課題は何だろうか。 宿題の説明 今日のワークシートと「家族と話そう！！シート」を使い、家族と話し合ってみることの説明。 「いのちの贈りもの」配布	身近な問題、世界的な問題について自らの生き方・考え方を深める。その必要性から、生前の意思表示の重要性を、宿題を通して自分のいのち、家族のいのちを考えてみる。

ワークシートの①→日本の件数は2024年12月末現在の数字。随時（公社）日本臓器移植ネットワークのホームページ・脳死での提供数を参照。

補 足 例えばこの授業を1学期末に行うことで、より深く探究・研究したい生徒は夏休みの課題研究・探究学習等に取り組みやすくなることが期待される。

評 価 臓器移植を取り上げた際には、「グローバルな視点で多方面から調べることにより、問題点を見つけ思考の深まりが感じられました。また、様々な情報を自分なりに取捨選択し、考えを深め、問題解決に役立てようとしていました。」のような評価の例が考えられる。

ワークシート

日本と世界の移植事情～自分の考えとは？～

① 移植事情について

日本は＿＿＿＿＿＿年に「臓器移植法」が施行され、＿＿＿＿＿＿年に改正法が施行されました。

＿＿＿＿＿＿年に施行されてから、今日までの提供件数は2,670件・移植件数*は8,246件です。（2024年12月末）

日本で臓器の移植を希望して待機している方は、約16,000人。それに対して移植を受けられる方は、年間およそ600人です。
臓器移植大国であるアメリカ合衆国では脳死下の年間件数は以下のとおりです。（2024年）

→心臓移植：約4,600件、肝臓移植：約10,000件、腎臓移植：約22,000件。

2008年、国際移植学会はイスタンブール宣言を出し、WHOは指針改正をしたことで、移植が必要な患者の命は自国で救う努力をしなくてはいけない現状です。

*移植数は、日本腎臓移植ネットワーク発足後の1995年4月からの合計数です。

② 臓器移植とは

臓器の機能が低下した人に、他者の健康な臓器を移植し、機能を回復させる医療です。現在、日本では本人の臓器提供の意思が不明な場合も、家族の承諾があれば臓器提供できるようになりました。15歳未満からの脳死後の臓器提供も可能です。

ドナーとは？ ➡ レシピエントとは？

脳死とは？ （植物状態との違いとは？）

「4つの権利」がある

③ それぞれの立場から考えてみる

レシピエント

レシピエントの家族

ドナー

ドナーの家族

④ 「家族と話そう！！シート」に記入

⑤ 今日の授業で感じたこと

振り返り

1. 世界と日本を比較し、問題点をみつけることができた
   そう思う　どちらでもない　そう思わない
2. いのちの大切さについて自分の考えを持つことができた
   そう思う　どちらでもない　そう思わない
3. 家族と話すことができた
   そう思う　どちらでもない　そう思わない

＿＿＿＿年＿＿＿＿月＿＿＿＿日

年	組	番	氏名

家族と話そう！！シート

☆授業でもお話ししましたが、「4つの権利」を前提として、無理のない範囲で考えてください。
◎答えが出ないときは、自然と答えが出るまで待つのも大切です。

	自分の気持ち	家族の気持ち	結 論
家族が脳死になったら		予想 実際	
	提供する・提供しない	提供する・提供しない	提供する・提供しない
自分が脳死になったら		予想 実際	
	提供する・提供しない	提供する・提供しない	提供する・提供しない
家族に移植が必要になったら		予想 実際	
	移植を受ける・移植を受けない	移植を受ける・移植を受けない	移植を受ける・移植を受けない
自分に移植が必要になったら		予想 実際	
	移植を受ける・移植を受けない	移植を受ける・移植を受けない	移植を受ける・移植を受けない

◎この気持ちは時々確認しましょう。途中で変わってもかまいません。
◎臓器移植について、いい・悪いを伝えるためのものではありません。
あくまでも生命科学の発展と、医療への応用を日本の倫理、法律、社会問題に即して、みなさんに知ってもらい、考えてもらうためのものです。

年	組	氏名

授業に役立つ資料のご紹介

日本臓器移植ネットワーク（JOT）では、授業をサポートするため、様々な教材の無償配布を行っています。授業の組み立てにご活用ください。

教材の無償配布

カード付リーフレット

臓器提供意思表示カードと記入方法の手引が一体になっています。
（A4三ツ折）

普及啓発映像集

脳死の解説、移植までの流れ、移植経験者や臓器提供者のご家族のインタビューなどが28本収められています。資料映像としてご活用ください。

think transplant

臓器提供者のご家族や移植経験者の手記です。
（145×145mm）

上記の資料は、JOTホームページ「教育者の方へ」からお申し込みください。
https://www.jotnw.or.jp/forteacher/teacher/

いのちの贈りもの

厚生労働省が作成した臓器移植に関するパンフレットです。
毎年全国の中学3年生を対象に配布されています。

そのほかの参考資料

キッズサイト

小・中学生向けに臓器移植の基礎知識をやさしく紹介するほか、復習クイズやARなどのコンテンツもあり楽しく学べます。

https://www.jotnw.or.jp/kids/

臓器移植解説集

JOTのホームページ「教育者の方へ」では、臓器移植の概要や移植までの流れ、脳死についてなどを詳しく解説しているパワーポイントもダウンロードでき、自由にご利用いただけます。

JOT NW
いのち、つなぐ。

公益社団法人 日本臓器移植ネットワーク

〒108-0022 東京都港区海岸3-26-1 バーク芝浦12階

0120-78-1069（平日 9:00～17:30）

https://www.jotnw.or.jp

臓器移植 検索

［監 修］

柴原 弘志　京都産業大学 教授

佐藤 毅　東京学芸大学附属国際中等教育学校 教諭

Supported by 日本財団 THE NIPPON FOUNDATION

2025.10